

事業所における自己評価結果

公表:平成31年2月28日

回答数 19名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	共有スペースの利用ではボードを使用し事前に調整を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	職員は担当の子どもだけでなく全体把握に努めています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	身のまわりのことや活動内容等、個々に合わせ写真などを使った視覚支援を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	玩具の消毒や、業者による室内、トイレ清掃の他、必要に応じその都度整理整頓を心掛け清潔な環境が保てるようにしています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	室長、副室長を中心に会議を行っています。様々な勤務形態のため「広く」という点では今後も調整努力が必要です。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	第三者評価受審や保護者アンケートから意向を把握し改善や、家族講演会等の内容に反映させています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をするとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	室だよりの他、掲示やホームページにてお知らせをしています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	平成28年度第三者評価の結果を受けて回答、及び改善に努めています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	育成室合同研修の実施の他、各種研修輪旋し、参加後の報告で情報を得るなど質の向上を図っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個人面談を定期的の実施しニーズを聞き取り、保育士、専門職で分析、評価を行い支援計画の作成を行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	アセスメント用紙があり使用しています。十分に活用できるよう理解を深めていきます。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び以降支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児童発達支援ガイドラインの項目に子どもと保護者のニーズも落とし込みながら支援内容を設定しています。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	個別日誌に示し日々系統立てた支援の実施ができているか確認し進めています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	月、週、日案反省をチームで行い次の立案へとつなげています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	活動での子どもの姿から振り返り反省、見直し、実践につなげ工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	集団担当の保育士と個別担当の職員で評価、検討し作成をしています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	ボードを活用し支援内容や役割分担等、確認把握をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	100%	0%	チームごとに振り返りを行いより良い内容、支援につなげられるよう気づいた点、課題等を話し合っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	クラス日誌、個別日誌に記載し週や月反省等で見直しをし支援の質の向上につなげられるよう活用しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	中間アセスメント、評価、計画見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通したもっともふさわしいものが参画している	100%	0%	主に担当が参加していますが必要に応じて看護師や管理者が参加することもあります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	子ども家庭支援センター、健康サポートセンター、保育課等と連携し情報共有しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			医療的ケアが必要な子どもは在籍していません。葛西東・西地区子育て関係施設等連絡会に出席するなど、関係機関との連携を図っています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現在、医療的ケアの対象となる子どもは在籍していませんが、医療的ケアについては保護者が主に行い、育成室では主治医に意見書等を依頼し連携を図っています。 ・小児科、神経科、整形外科の医師が協力医療機関となっており、毎月、健康診断を実施して保護者の相談にも対応できるように連携体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	「ともだち」や児童状況書、心理所見書等作成の他、職員の訪問受け入れを行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	特別支援学校担当者の訪問受け入れ、小学校との情報共有の場を設定しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	江戸川区育成室の療育向上のために他区等の施設見学、公開授業等に参加しています。

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%	午前中クラスの利用児を対象に年に数回、保育所との交流を行っています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	地域の子育て関係機関が集まる地域連絡会に定期的に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	活動日のねらい等のフィードバックや個別面談を実施しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	家族講演会、家族講座を年に10回程実施しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に丁寧な説明を心がけるとともに運営規程、重要事項説明書については保護者が手に取れる場所に冊子として置いています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	個別面談の中で児童発達支援計画の内容説明を行い、保護者の了解のもとサインをいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	支援計画の評価時に限らず定期的にまた、必要に応じて面談や相談対応を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	定期的に保護者の親睦会を実施しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	保護者対応・接遇マニュアルをもとに職員同士連携を取り相手の思いに寄り添った対応を心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月室だよりを発行し行事予定や活動の様子、保健についての情報等発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	年度当初に全職員へ説明し周知し鍵のかかる書庫への保管等、徹底を図っています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	障害に限らず、外国籍等言葉の伝わりにくい保護者にも個々に対応をかえるなど配慮しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	夏のお楽しみ会、育成室合同秋祭りに第三者委員や民生委員等をお呼びしています。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	育成室の運営マニュアルがあり午前利用親子を対象とした各訓練を定期的に行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	午前利用親子を対象とした毎月の災害訓練において地震、火災、水害等の訓練を実施。また非常持ち出しリュック内の点検も行っています。	

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	入室前アセスメント時に状況を聞き取り所定の書面に記録しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされている	100%	0%	江戸川区立保育園同様のマニュアルに基づいた対応を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	SHELモデルの枠組みの用紙を活用し分析、検討した結果を職場全体で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待の防止を啓発、普及するための研修への参加、全職員が理解を深められるよう参加後の報告を受けています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	今までそのようなことはありませんが、利用契約時に契約書にも書かれており丁寧に説明するとともに、個々においては保護者と確認のもと支援計画に記載しています。